

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2016年(平成28年)2月15日号 No.1685

目次

■ 2015年のロシア経済と鉱工業生産	1
—6年振りのマイナス成長—	
■ 統計速報	6
2016年1月のロシアのブランド別乗用車販売台数/6	
■ モスクワほっとニュース	7
モスクワの人気ベトナム料理店「カフェ・サイゴン」/7	
■ エトセトラ	8
京都で「ロシア極東経済セミナー」開催/8	
■ トピックス	8
モスクワに第4の空港「ラメンスコエ」/8	

2015年のロシア経済と鉱工業生産 —6年振りのマイナス成長—

はじめに

ロシア連邦国家統計局発表の2015年のロシアの主要経済指標がほぼ出揃ったので、今回の速報ではそれらの指標を図表に取りまとめて紹介することにする。鉱工業生産については、特に詳しくお伝えする。なお、2015年のロシアの貿易統計に関しては、ロシア連邦関税局のデータにもとづき、後日より詳しくお伝えする予定である。

データ解説

ロシアの主要経済指標は、図表1に見るとおりである。2015年には、農業生産を除いて、主要指標のすべてが悪化している。経済不振は、特に貿易への齟齬せとして表れ、輸出は前年比31.6%減、輸入は同37.0%減もの落ち込みを示した。

2月2日にロシア連邦国家統計局が発表した速報値によれば、2015年のロシアの国内総生産(GDP)は、現行価格で80兆4,125億ルーブルとなった。実質経済成長率はマイナス3.7%とされている。ロシア経済がマイナス成長に陥ったのは、2009年以来、6年振りのこととなる。

GDPを生産部門別に見ると、農林業・狩猟が3.5%増、鉱業が1.1%増など悪くない部門もあったが、製造業の5.5%減、建設の7.5%減、卸売・小売の10.1%減などが全体を押し下げた。一方、支出項目別に見ると、家計消費が10.1%減、総固定資本形成が7.6%減など、消費・投資両面が不振